

問題設定：

良いAI予測モデルを運用して、利益を最大化したい

- AIソリューションは更新されない限り変化しない。
- 最終更新の時点でのデータのみを考慮する。
- 説明可能性が低い／全くない（説明可能AIの意義）。
- 経済環境の変化に柔軟に対応するにはどうすれば良いか？

金融市場・実体経済は、予測モデル作成の時点から変化する。

- インフレ（マネタリーベース↑）
- 為替市場（例：円安で工業製品の材料費が上がる。）
- イノベーション（例：インターネット）

分析

(省略)

施策 1 : 半自動化

例 : 手作業とAIの重みを決める

- 手作業と予測器のそれぞれで5段階評価。
- 人とAIで重みの割合を決める (例 : 50% : 50%)
- 先行事例 : TOEFLスピーキングの半自動採点。

Speaking 1: Human Evaluator [3] / AI Evaluator [3]

Speaking 2: Human Evaluator [2] / AI Evaluator [3]

Speaking 3: Human Evaluator [3] / AI Evaluator [2]

Speaking 4: Human Evaluator [3] / AI Evaluator [2]

Average Score: 2.625

Average Score x Conversion Rate = 19.675 -> 20 points

施策2： 事業戦略に応じたスコア運用

* 信用スコアと過去データから、お客様一人の正確な期待リターンの分散が求められるとする。

- リスク選好的プラン
 - 事前に企業全体としての合計リスク量の閾値を設定する。
 - その閾値を超過するまで先着順で審査通過。
- リスク回避的プラン
 - 事前に信用スコアに対して閾値を設定する。
 - その閾値を超過した場合にのみ審査通過。
- ポートフォリオ理論に基づくプラン
 - お客様一人につき、審査を通過した場合のシャープ比の変化を調べる。
 - 保証料は保証期間に渡って償却する。